

千葉県および県内全54市町村と 「高齢者見守り協定」「災害協定」を締結しました

セブン-イレブン・ジャパン

2016/5/18

セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

千葉県と㈱セブン-イレブン・ジャパンは、千葉県および県内の全54市町村と高齢者見守りネットワーク協定を締結し、店舗でのお届けサービスを通じた高齢者などの見守り活動や高齢者雇用、認知症サポーターの養成など、高齢者が安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。

2014年7月に、高齢者孤立化防止活動「ちばSSK（しない、させない、孤立化）プロジェクト」などに関する協定を締結しており、その後、現在までに見守り報告事例は903件、高齢者雇用も1,800名を超えてきました。

また、災害時の物資供給支援に加え、店舗の営業継続・早期再開に向けての協定を、全国に先駆けて県内の全54市町村と締結しました。



セブン-イレブン・ジャパン
千葉・南茨城ゾーン
総務マネジャー
鴨下 浩



高齢者が携帯電話で話しながら入退店を繰り返し、コピー機を操作していることに気がつき、店長が声かけしたことで詐欺を未然に防ぐことが出来ました。

その事例を受け、茂原警察署から表彰されました。

セブン-イレブン長生睦沢店 須藤店長
(写真左)

1月28日船橋市民センターにて
シニア従業員の雇用説明会を実施。

県内各地で、行政と連携して高齢者の
雇用説明会を開催しています。

(54市町村すべてで実施予定)

(写真右)





3月22日、千葉県庁にセブン-イレブンの井阪社長が森田知事を訪問。

ちばSSK（しない、させない、孤立化）プロジェクトの活動報告と、セブン-イレブンを地域の安全・安心の拠点にしていくという「ちは安全・安心まちづくり宣言」を行いました。

森田知事（右）と千葉県の安全・安心の取り組みを宣言した井阪社長（左）



千葉市との「災害時における物資提供及び店舗営業継続又は早期再開に関する覚書」締結式
熊谷市長（中央左）とセブン-イレブン古屋副社長（中央右）、市内の加盟店オーナーの皆様

船橋市と共催したシニア従業員の雇用説明会を通して採用され、セブン-イレブン船橋若松1丁目店で店内業務・配達業務と大活躍されている古谷さん



「これからも、引き続き地域の方々にとって頼りにされるお店を目指してまいります！」